



いわき市医療センター
Iwaki City Medical Center



基本理念

「慈心妙手」

わたしたちは、市民の健康と生命を守るため、安全で安心な医療を提供し、地域から信頼され、進歩し続ける病院を目指します。

「慈心」(じしん: 相手を慈しみ思いやる気持ち) で患者さんに接し、「妙手」(みょうしゅ: 優れた医療技術) で診察、治療を行うことです。

基本方針

1. 浜通り地区の中核病院としての役割を担います。
2. 地域と連携し、高度医療、先進医療、救急医療の充実に努めます。
3. 明日を担う医療従事者を育成します。
4. 患者さんと職員との信頼関係を築くことに努めます。
5. 安全で安心な医療を提供するため「チーム医療」を実践します。
6. 自治体病院として良質な医療の提供と健全経営に努めます。

患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、人格、価値観が尊重され、安全で安心な医療を公平、公正に受ける権利があります。
2. 患者さんは、病気、治療、検査、看護、症状の経過、医療の内容などについて十分な説明を受け、ご自身の意思により、治療方法などを選択・決定・中止する権利があります。
3. 患者さんは、診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。
4. 患者さんは、定められた手続きにより、ご自身の診療記録の開示を求める権利があります。
5. 患者さんは、健康に関する指導や情報提供を受ける権利があります。
6. 患者さんは、ご自身の医療内容について、他医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
7. 患者さんは、病院の医療従事者に対して、ご自身の病気や症状、怪我などの情報を誠実に伝える責務があります。
8. 患者さんは、病院の諸規則を守る責務があります。

挨拶

いわき市病院事業管理者 新谷 史明



日頃より、市病院事業に対し多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。
当センターは、昭和25年に「磐城共立病院」として開設し、平成30年の新病院開院を機に「いわき市医療センター」に名称を変更しましたが、これまでの間、地域の中核病院として、地域から信頼され、進歩し続ける病院を目指し運営して参りました。

近年、地域医療を取り巻く環境が大きく変化する中、いわきの医療を維持するためには「競争」ではなく「協同」をキーワードに、関係機関が連携し合うことが必要であると考えております。先々までを見据え、地域全体でいわきの未来を切り開いていく所存です。

今後も、第三次救急医療やがん医療など高度急性期医療を着実に提供するとともに、明日の地域医療を担う医師をはじめとした医療スタッフの育成にも力を注ぐなど、全力で地域医療に貢献して参ります。引き続き、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

いわき市医療センター院長 杉 正文



日頃より、当センターの病院運営に対し多大なご理解を賜り深く感謝申し上げます。
当センターは、福島県浜通り地区唯一の「救命救急センター」を有し、地域のなかで、「がん」、「心筋梗塞」をはじめ、感染症への対応など、いわゆる「5 疾病・6 事業」を中心とした高度急性期医療、政策医療を担っています。

高齢化と少子化が加速する中、当センターは地域の基幹病院としての役割がますます重要になっています。

今後も、市民の皆様信頼される医療機関であり続けるため、これまで以上に風通しの良い組織風土をつくり、地域のニーズに柔軟に対応できる体制を整えてまいりますので、皆さまのお力添えをいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

沿革

昭和25年11月1日	磐城共立病院開設（許可病床50床）	平成25年2月27日	福島DMA T 指定病院指定
昭和41年10月1日	いわき市立病院となる 「いわき市立総合磐城共立病院」	5月16日	ハイブリッド手術室稼働
昭和42年5月10日	本館新築	12月25日	福島県立医科大学の寄附講座 「地域産婦人科支援講座」に関する協定締結
昭和43年3月21日	看護婦養成所の指定 「磐城共立高等看護学院」	平成26年8月6日	地域がん診療連携拠点病院指定
4月15日	磐城共立高等看護学院開院・入学式	平成27年3月30日	福島県立医科大学の寄附講座 「地域整形外科支援講座」に関する協定締結
4月18日	救急病院認定（県）	平成28年4月4日	病理診断センター開設
昭和50年5月20日	中央病棟新築完成 地下1階・地上8階	平成29年3月23日	北里大学の寄附講座 「小児・小児循環器地域医療学（いわき市）」に関する協定締結
昭和55年4月1日	救命救急センター併設（県指定）	3月28日	東北大学大学院医学系研究科の連携講座 「地域先進医療学講座」に関する協定締結
昭和56年2月6日	臨床研修病院指定	平成30年9月	新病院本体工事の竣工
平成元年3月31日	D S A 設置	12月25日	「いわき市医療センター」と改称し、開院 許可病床 700床（一般679床・結核15床・感染6床） 緩和ケア病棟20床を新設
平成2年6月1日	N I C U 承認	平成31年4月1日	「磐城共立高等看護学院」を「いわき市医療センター看護専門学校」へ改称
12月1日	M R I 稼働	令和2年4月	D P C 特定病院群指定
平成8年11月29日	地域災害医療センター（災害拠点病院）指定	令和3年3月	新病院建設事業の完了（同年3月28日グランドオープン）
平成11年4月1日	第二種感染症指定医療機関（6床）（県指定）	4月1日	日本医療科学大学との小児地域総合医療学講座を開設
平成12年4月1日	医薬分業開始 救急医療部発足	令和4年6月1日	福島県立医科大学との地域支援視機能再建学講座を開設
平成14年4月1日	地域周産期母子医療センター認定（県認定）	令和4年10月	ドクターカー運用開始
12月20日	感染症病床完成（6床）	令和5年7月24日	手術支援ロボット「ダビンチ」稼働
平成19年4月1日	地方公営企業法の全部適用	令和6年4月1日	福島県立医科大学との脊椎脊髄外科アカデミーを開設
平成21年3月11日	電子カルテ導入		
9月8日	地域医療支援病院指定		
平成22年4月1日	市立常磐病院と統合 D P C（包括的診療報酬制度）の導入		
平成24年3月	新病院基本構想の策定		
12月	新病院基本計画の策定		
12月21日	東北大学大学院医学系研究科の連携講座 「消化器地域医療医学講座」に関する協定締結		



安全・安心な医療を提供し
 地域の中核病院として役割を果たします

当センターの機能・役割

福島県浜通り地区の中核病院として、高度急性期医療を担うとともに、地域の医療機関との連携や役割分担を図り、地域完結型医療の実現を目指します。

地域の高度急性期医療を担うため、先進的な設備・医療機器を導入しており、質の高い治療・検査体制を整えています。



手術室 (バイオクリーンルーム)



手術支援ロボット ダビンチ (Da Vinci Xi)



血管撮影装置 (頭頸部用)



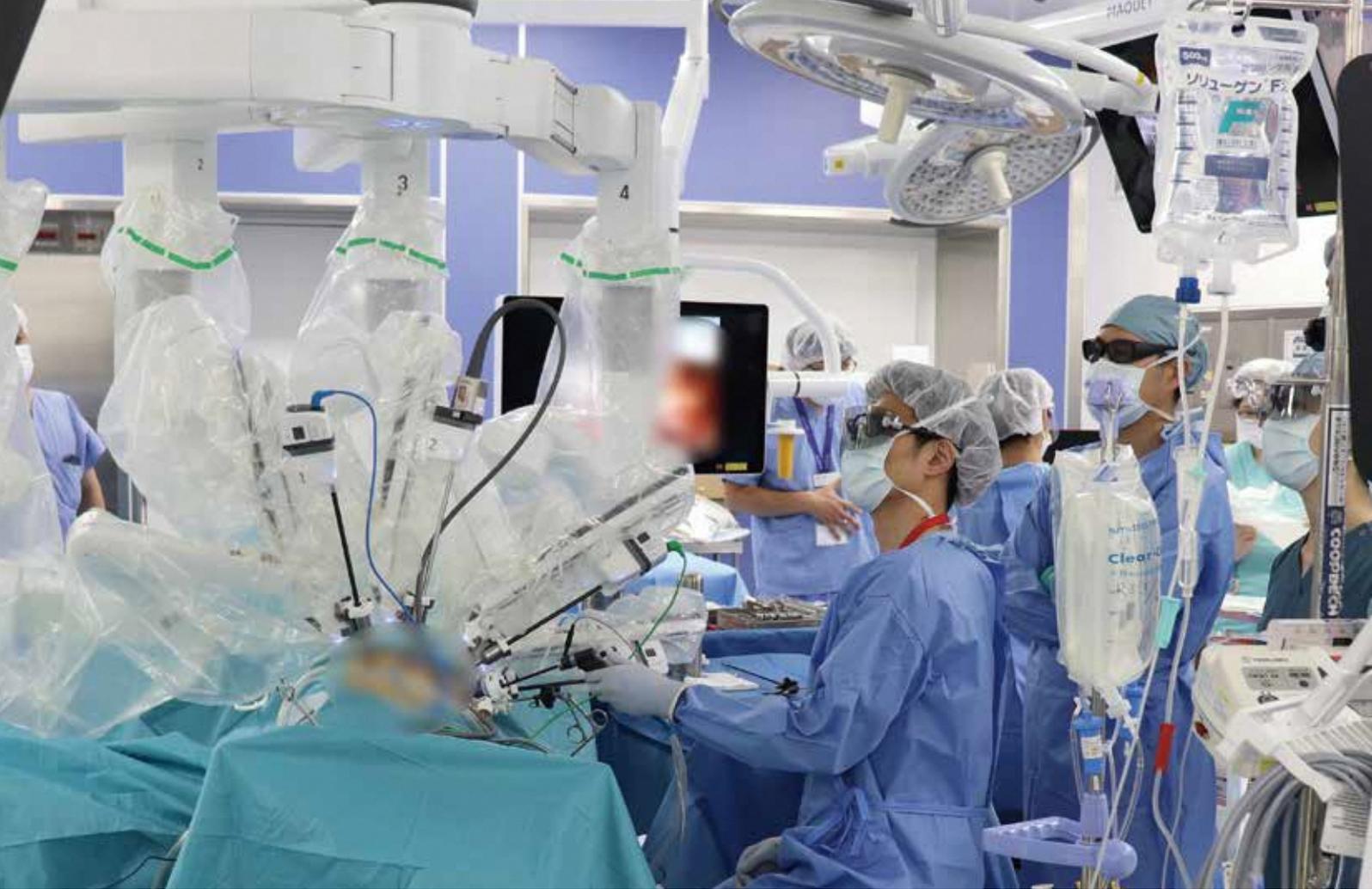
MRI装置 (3 テスラ)



CT撮影装置 (320列)



SPECT-CT



急性期医療の 中心部

全13室の手術室を備え、手術支援ロボット「ダビンチ」も導入しています。手術室、ICU、E-ICU、HCU、臨床工学部門等がワンフロアに集約されており、各部門が連携して効率的な集中治療を行うことができます。

人を育てる

良質な医療提供の礎となる医療スタッフの育成に積極的に取り組んでいます。

研修医

臨床研修指定病院として臨床研修医を育成しています。「2年後には当直に対する不安がなくなる」ことを目指し、指導医が全力でサポートしています。本人の意思に基づき柔軟に研修プログラムを設定することが可能であり、主体的な学びを実現します。



看護専門学校

当センター附属の「いわき市医療センター看護専門学校」を運営し、将来の地域医療の中心的な担い手となる看護師を育成しています。

学生一人ひとりに向き合い丁寧な指導を実践しており、高い国家試験合格率を誇ります。





救急医療

福島県浜通り地区で唯一の第三次救急医療機関として、24時間体制で重篤な患者さんの急性期治療を行っています。

屋上ヘリポートを設置し、一刻を争う患者さんの受入体制を整えているほか、「病院前からの医師介入による攻めの救急医療」をモットーにドクターカーも運用しており、1秒でも早く患者さんの治療に介入し、救命率の向上や後遺症の軽減を図っています。



ドクターカー



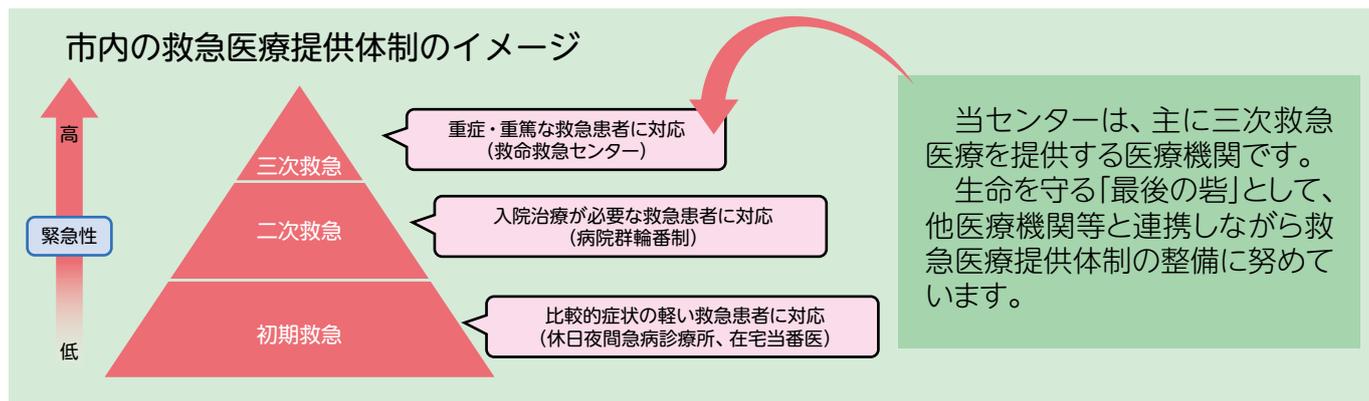
三次救急初期治療室



E-ICU (救急集中治療室)



救急外来受付





がん医療

放射線治療装置 (LINAC)

地域がん診療連携拠点病院として、手術・薬物療法・放射線治療を組み合わせた集学的治療を充実させています。早期がんの治療から緩和ケアまで、質の高いがん治療の提供に努めているほか、患者さんやご家族に必要な支援につながるための様々なサポートを行っています。



緩和ケア病棟



屋上庭園



がんサロン「サポートサロン えん」

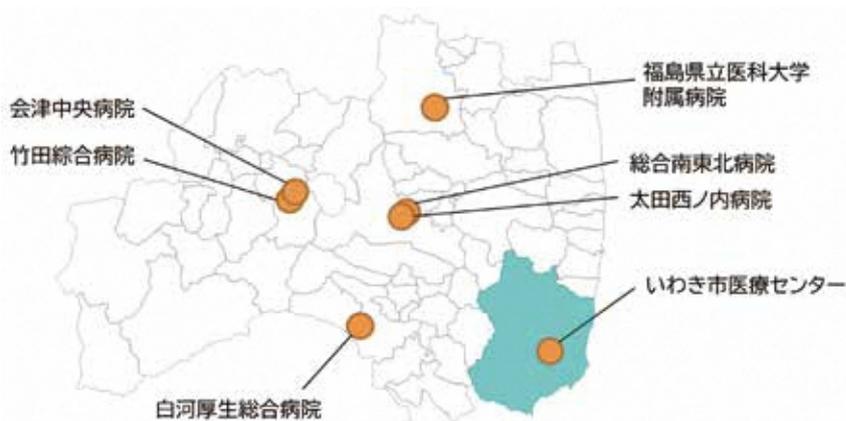


化学療法室

がん診療連携拠点病院とは？

がん診療の地域格差を無くし、全ての地域で質の高いがん医療を提供できる体制づくり(がん医療の均てん化)を推進するため、地域のがん医療の中核となる医療機関のことで。

当センターは平成26年8月から指定されており、他医療機関と連携しながら、がん診療の充実を目指しています。



福島県内のがん診療連携拠点病院 (令和7年4月現在)



小児・周産期母子医療

NICU(新生児用集中治療室)

地域周産期母子医療センターとして、産科、NICU、GCU、小児科の病棟をワンフロアに集約し、連携を強化することで、ハイリスク出産や低出生体重児への医療提供など周産期医療の充実を図っています。



産科個室



産科病棟内分娩室



小児病棟



脳血管疾患・心疾患医療

ハイブリッド手術室

地域の高度急性期医療を担う拠点病院として、全身血管病治療を積極的に推進しているほか、ハイブリッド手術室を有し、外科的手術と血管内治療の併用を伴う高度な手術を安全に実施できる環境を整えています。



ICU(集中治療室)



心臓カテーテル室



災害医療・感染症医療

DMAT派遣(令和6年能登半島地震)

地域災害拠点病院として、非常時にも切れ目なく医療提供を行うため、建物本体を免震構造としています。1階きょうりつ講堂や1・2階ホスピタルストリートは医療ガスなどのアウトレットを配置したトリアージスペースとしており、屋外にはマンホールトイレなども整備しています。

また、第二種感染症指定医療機関として、陰圧機能付き病床を有しており、新興感染症の感染拡大時には、地域の医療機関との適切な役割分担のもと、必要な医療提供を行っていきます。



きょうりつ講堂(壁面から医療ガス供給可)



医療ガスアウトレット(ホスピタルストリート)



東12階病棟(結核・感染症病床)



地域医療連携

患者サポートセンター

地域医療連携、医療福祉相談、がん支援相談、訪問看護、入退院支援などの業務をワンストップサービス化した患者サポートセンターを設置し、患者さんの利便性向上を図るほか、地域の医療機関との連携を積極的に行っています。



患者サポートセンター



相談室(患者サポートセンター内)

外来部門

1F~2F

落ち着いた雰囲気のある「温かみ」のある色彩と、現代的でシンプルな「清々しさ」のある形状を取り入れ、癒しの環境の提供に努めています。また、東西に伸びるホスピタルストリートやサブストリートを軸に、外来診察室や各種検査室などを配置し、わかりやすく利用しやすい配置としています。



1 2



3 4



1 総合受付 2 ホスピタルストリート 3 中待合室 4 診察室



5 6



7



8



9

5 中央採血室 6 リハビリテーション室 7 画像診断受付 8 エコー室(腹部) 9 透析室

病棟部門

6F~12F

病室は、木調の自然な色合いで落ち着いたある療養空間とし、個室と4床室で構成しているほか、各階に談話室や面会室として利用できるダイルームを配置しています。



1



2



3



4

1 個室 2 4床室 3 ダイルーム 4 スタッフステーション

院内設備

患者さんやそのご家族、面会に来られた皆様などの利便性向上のため、各種便利施設、サービス施設を設置しています。



1



2



3



4



5

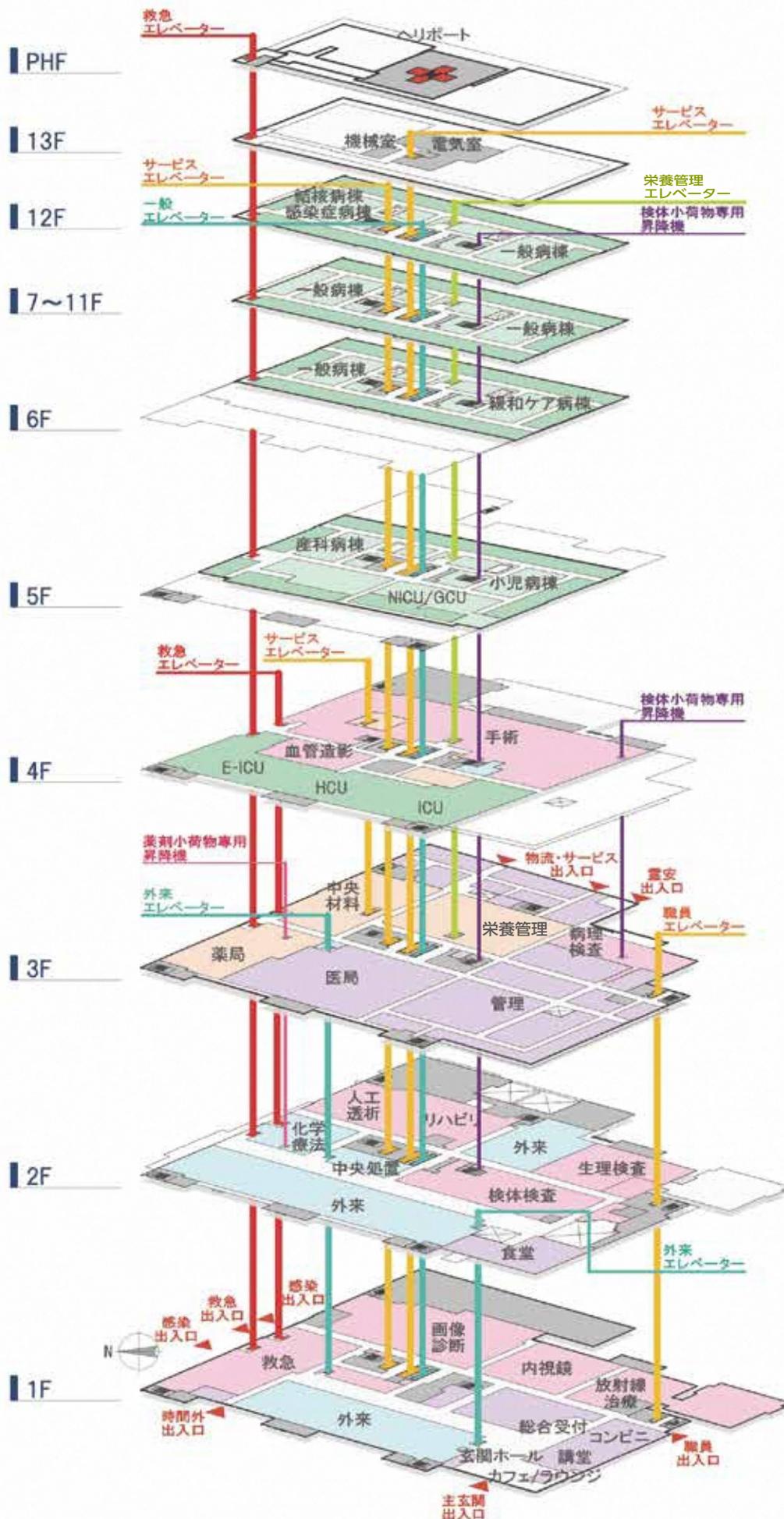
1 カフェ 2 コンビニエンスストア 3 患者図書館 4 美容室 5 レストラン



無料 Wi-Fi
(公衆無線LAN)の
ご案内

院内全域で無料Wi-Fiがご利用いただけます。
廊下等に掲示されているパスワードを入力し、ご利用ください。
※利用規約の詳細は当センター Webサイトでご確認ください。

階構成図





病院概要

敷地面積	72,051.80㎡		
延べ面積	65,112.60㎡ (うち病院棟 62,741.46㎡)		
階数	地上13階(屋上ヘリポート)、地下階なし	高さ	55.67m
診療科目 (28科)	内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・心療内科・緩和ケア内科・外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・精神科・小児科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線診断科・放射線治療科・病理診断科・救急科・麻酔科・歯科口腔外科		

許可病床数	総病床数700床 (一般679床・結核病床15床・感染病床6床)		
一般病床の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ● ICU (集中治療室) …………… 10床 ● HCU (高度治療室) …………… 12床 ● E-ICU (救急集中治療室) …………… 20床 ● NICU (新生児用集中治療室) …………… 6床 ● GCU (新生児治療回復室) …………… 12床 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小児 …………… 29床 ● 産科 …………… 30床 ● 緩和ケア …………… 20床 ● その他 …………… 540床 	

指定医療機関等一覧

- 保険医療機関
- 臨床研修指定病院
- 指定養育医療機関
- 第二種感染症指定医療機関
- 救急告示病院
- 地域周産期母子医療センター
- 原子力災害医療協力機関
- 救急救命士実習教育施設
- いわき市救急医療施設病院群輪番制病院
- 労災保険指定医療機関
- 歯科医師臨床研修指定病院
- 被爆者一般疾病医療機関
- 結核指定医療機関
- エイズ拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 特定疾患治療指定医療機関
- D P C 対象病院
- 母体保護法指定医療機関
- 生活保護法指定医療機関
- 指定自立支援医療機関(育成医療・更生医療)
- 国民健康保険療養取扱機関
- 地域災害拠点病院
- 地域医療支援病院
- 指定小児慢性特定疾病医療機関
- 福島DMA T 指定病院

主な学会等認定一覧

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本不整脈心電学会不整脈専門医研修施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- 日本高血圧学会高血圧認定研修施設
- 日本心身医学会認定医制度研修診療施設
- 日本小児外科学会専門医制度専門医育成認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度研修施設
- 日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
- 日本胆道学会認定指導施設
- 日本肝胆膵外科学会専門医高度専門医修練施設B
- 日本乳癌学会認定施設
- 日本形成外科学会認定施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- 胸部・腹部ステントグラフト実施施設
- 経カテーテルの大動脈弁置換術実施施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本手外科学会研修施設認定
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- 日本周産期・新生児医学会新生児認定施設
- 日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 福島県母体保護法指定医師研修病院
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設
- 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
- 日本病理学会病理専門医研修登録施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
- 日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
- 日本血液学会認定専門医研修認定施設
- 日本臓臓学会認定指導医制度指導施設
- 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- ロボット手術認定研修施設

診療実績

診療実績等の推移

内 訳		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
救急車受入れ件数		3,404件	4,174件	4,284件	3,986件
うち即入院患者数		2,288件	2,528件	2,605件	2,488件
手術件数(手術室使用)		5,749件	6,381件	6,487件	6,518件
うち全身麻酔件数		3,545件	3,844件	4,235件	4,411件
心カテ・DSA件数		1,732件	1,704件	1,721件	1,710件
紹介患者数		12,201人	12,617人	13,443人	13,744人
逆紹介患者数		9,513人	10,193人	11,171人	11,706人
入院	延患者数	162,505人	171,831人	176,737人	178,176人
	新規患者数	13,174人	13,837人	14,787人	14,993人
	在院日数	12.4日	12.4日	12.0日	11.9日
	診療単価	80,908円	80,744円	84,320円	88,522円
外来	延患者数	217,643人	219,838人	222,026人	223,616人
	新規患者数	22,958人	24,368人	26,552人	26,837人
	診療単価	18,567円	19,575円	20,119円	21,166円

※外来の新患者数・延患者数・診療単価は人間ドックを除く

病院事業決算の推移 収益的収支

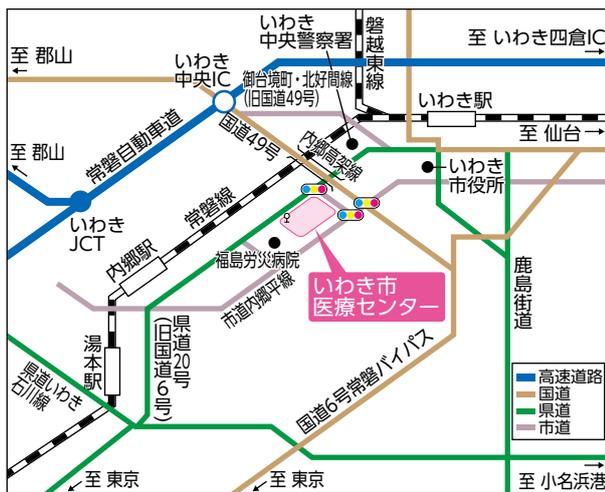
単位：億円

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
病院事業収益	246.6	255.4	247.0	254.6
医業収益	177.0	187.0	199.2	210.9
入院収益	131.5	138.7	149.0	157.7
外来収益	40.4	43.0	44.7	47.3
その他医業収益	5.1	5.2	5.5	5.9
医業外収益	68.0	66.3	45.9	41.8
県支出金	29.4	26.4	6.1	1.3
他会計負担金	19.7	21.0	20.5	21.3
看護専門学校収益	1.6	1.6	1.6	1.6
特別利益	0.1	0.4	0.3	0.3
病院事業費用	223.7	233.1	238.2	259.2
医業費用	211.9	220.2	225.0	245.0
給与費	94.2	96.4	96.0	107.1
材料費	54.4	58.5	62.3	67.8
経費	29.6	31.2	31.3	32.6
減価償却費	26.9	27.0	27.0	30.1
資産減耗費	0.6	0.2	1.6	0.4
医業外費用	10.2	10.9	11.3	12.5
看護専門学校費用	1.7	1.8	1.8	1.8
特別損失	0.0	0.3	0.2	0.0
医業損益	△ 34.9	△ 33.2	△ 25.8	△ 34.0
経常損益	22.8	22.0	8.6	△ 4.9
純損益	22.8	22.2	8.7	△ 4.6

※単位未満を四捨五入しているため、合計等が合わない場合がある。



周辺マップ



交通アクセス

鉄道・バスでのご来院方法

- ・JRいわき駅**
 新常磐交通バス3番のりばから乗車し「医療センター」バス停下車
- ・JR内郷駅**
 県道20号線沿い「内郷駅入口」バス停からいわき駅方面行きバスに乗り「医療センター」バス停下車

車でのご来院方法

病院敷地内の駐車場をご利用ください。

収容台数 644台 (来院者用)

利用時間 24時間入出庫可

駐車料金

外来診療 受診者	5時間まで	無料
	5時間を超えた場合	50円 (30分ごとに50円加算)
お見舞い その他の方	30分まで	無料
	30分を超えた場合	50円 (30分ごとに50円加算)



いわき市医療センター

Iwaki City Medical Center

〒973-8555 福島県いわき市内郷御厩町久世原16番地
 TEL 0246-26-3151(代) FAX 0246-26-2404(経営企画課)



[WEBサイト]

Webサイト <https://iwaki-city-medical-center.jp/>



[Facebook]



[Instagram]